

# 特集

# Withコロナ社会 を デザインする

新型コロナウイルスはやっかいな感染症である。正体がかめないどころか、その病巣が常に変化しているという。そうしたウイルスとの「With」する社会をどうデザインしていくか。電通がまとめた新型コロナウイルス感染拡大を2月末からの動きをフェーズ分け〔図1〕しただけでも、人類社会にとっていかに重いテーマであるかがわかる。では、どういう社会の仕組みで安定させていくのか。多摩大学大学院 名誉教授・田坂広志氏は、そのWithコロナ社会づくりに向け、「デュアルモード社会」を提言する（記事掲載●ページ）。

Withコロナへ動き出した放送業界、自治体データ問題、教育分野におけるセキュリティ提言など、前号（8月号）に続く特集である。なお、本特集もオンラインインタビューやメール取材を中心にした。（特集企画担当：吉井 勇・本誌編集部）

【図1】新型コロナウイルス感染拡大の経緯（出典：電通）

